

## ■ 編集委員

菅澤 正 (編集委員長)

池淵 研二 小林 国彦 小山 勇 篠塚 望 千田みゆき 名越 澄子 仁科 正実

町田 早苗 松下 祥 渡辺 修一 Chad L Godfrey (五十音順)

## ■ 編集後記

先月末、学会で沖縄を訪れたとき、中国人観光客が激減の中、久しぶりにクルーズ船が来港し街が賑わうとタクシー運転手の方が喜んでおりましたが、気が付くとその船は現在横浜港で係留中となっております。新聞、テレビ、ネットはCOVID-19の話題で氾濫しております。怪しい記事もあふれており、我々医療者が正しい知識を広げる必要があります。来たるべき新型インフルエンザ対策の予行演習でしょうか。

しかしながら、学生時代に学んだ公衆衛生の知識もあやふやな部分も多く、検疫に関しても、狭いクルーズ船に閉じ込めておくのが良策なのか、乗船者全員の検査は必要ないのかなど、疑問は増えるばかりです。国内に感染の広がりがうたがれる中、埼玉医科大学として組織的な対応も望まれます。

さて、今月は原著、調査資料、症例報告が各1編投稿されました。足関節骨折の手術法の検討、3D シミュレーションモデルの応用、働き方改革にも関連するICU看護師の労働意欲について等興味深い内容です。

学内グラント報告書も掲載いたしました。埼玉医大の現在進行形の研究が俯瞰できると思います。

最後に、共有研究機器、ドロップレットデジタルPCR (ddPCR, 正式名称: QX200 AutoDG Droplet Digital PCR システム) の紹介です。日進月歩の領域ですので、本記事を参考に最新の研究機器を有効に活用できることを願っております。

現在、研究科委員会で博士論文の条件について話し合われており、論文の受け皿として、本誌の役割は益々大きくなるものと思われまます。また、専門医の資格要件として、論文は必須であり、原著論文、症例報告の投稿は増加傾向です。申請のため、ギリギリでの投稿も見受けられますので、本誌の質を高めてゆくため厳密な査読は必須ですので、余裕を持って投稿していただきたいと思ひます。

(菅澤 正)

## 埼玉医科大学雑誌

<http://www.saitama-med.ac.jp/jsms/>

第46巻 第2号

編集責任者 菅澤 正

令和2年3月16日 印刷

令和2年3月31日 発行

発行所 埼玉医科大学 医学会

350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話 049 (276) 2102/2030 (直通) FAX 049 (276) 1860 E-mail: igakkai@saitama-med.ac.jp

郵便振替 00540-6-19727

製 作 レタープレス株式会社

広島市安佐北区上深川町 809 番地の 5 電話 (082) 844-7500 <http://www.letterpress.co.jp/>